

第7回 上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会 議事要旨

開催日時 : 令和7年6月27日(金) 19:00~20:15
会 場 : 教育科学館 研修室
参 加 者 : 委員 14名
事 務 局 : 板橋区まちづくり推進室鉄道立体化推進課 6名
事務局補助 : 株式会社日本インシーク 3名
傍 聴 者 : 1名

1. 開会

2. 会長あいさつ

〔会長〕

本日はお忙しい中、第7回上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会にご参加いただき感謝申し上げます。

先月21日に上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会 地域懇談会を開催した。19名の多くの方々に参加いただき、様々な意見や質問をいただき、有意義な懇談会となった。

今回の協議会では、第2回アンケート調査の結果や地区懇談会の意見を踏まえ、昨年度作成したマスタープラン基本構想(案)に対する意見の取りまとめを行う。短い時間ではあるが、皆様の忌憚のないご意見をいただき、会を進めていきたいと思う。よろしくお願い申し上げます。

3. 議事

議題

- (1) 今回の内容と今後のスケジュール(案)について
- (2) 第6回協議会の振り返り
- (3) 基本構想(案)に対する意見のまとめ
- (4) 分科会の設置(案)について
- (5) その他

- (1) 今回の内容と今後のスケジュール(案)について
- (2) 第6回協議会の振り返り
- (3) 基本構想(案)に対する意見のまとめ

＜(株)日本インシークより資料1、2、3、別紙1について説明＞

【意見交換】

〔委 員〕

- ・アンケート結果のサンプル数が少ないのはなぜか。ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会は回答数が多かったと聞いたが、その違いは何かという疑問がある。せ

っかくアンケートをとったのにサンプル数が少ないと、その意見を反映するのは難しい面があるのではないかと危惧される。事務局はどう考えているか。

〔事務局〕

- ・上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会は、まちづくり協議会だよりを北口のみに全戸配布している。ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会は、北口と南口の両方に全戸配布しているため、アンケートの対象となっている母数が上板橋よりときわ台の方が3倍ぐらい多くなっている。そのため、上板橋は回答者数が34件となった。

〔株日本インシーク〕

- ・言いたいことがある方はアンケートに書いたり、地域懇談会に参加されたりしているが、言いたいことが特にない方は、アンケートに回答しない場合がある。当然、関心がない場合もある。そこは今年度引き続き、ニュースの配布やアンケートのやり方を工夫するなど、皆様と一緒に考えていきたい。

〔株日本インシーク〕

- ・「アンケート・地域懇談会における主な意見と協議会としての回答（案）」については、この内容で地域の皆様に回答させていただくことで問題ないか。

<委員一同異議なし>

（４）分科会の設置（案）について

<事務局より資料１、別紙２、３、４について説明>

【意見交換】

〔委 員〕

- ・資料１ P.15 について、分科会Ａと分科会Ｂが同時開催というのは、同じ場所で分けて行うということか。

〔事務局〕

- ・そうである。班を二つに分けて行う。

〔委 員〕

- ・方針図は、今あるものと今ないものを無視して考えて良いのか。北口の駅前辺りは、アンケートで道がないや狭いといった意見が出ている。今の状態を踏まえて方針図を作っていくのか、こうなってほしいという形で作って良いのか。

〔事務局〕

- ・まちの将来像であるため、こうなってほしいという意見を形にする。
- ・当然、現状の道路から拡幅をしたいという話になると、都市計画法上の都市計画道路を新たに入れるなど、色々なやり方がある。分科会を設置する意義は、この道路が狭いから広くしようという課題があった時に、それをやるためにどうしたら良いかを分科会で詰めて、実際に出来るのか深掘りをしていく必要がある。現実的に道路を広くしようとした場合、色々な人達が退かないといけない。
- ・別紙２ P.2 の中野区の方針図を見ると、今ある市街地に対して、こうした方が良好、ああした方が良好というような方向性が書かれている。その中で用途地域

や都市計画図があり、それが基本になっている。分科会では、用途地域や都市計画図はどのようなものなのか、道路拡幅するためにどのような手法があるのかといった所から、始められると良いと思っている。月に1回の開催は、皆様に負担をかけるのかもしれないが、そうでないと深掘りができないというのが事務局としての本音であるため、分科会を提案させていただいた。

〔委員〕

- ・都市計画図は、分科会で提示していただけるのか。

〔事務局〕

- ・現状の都市計画図や用途地域図には、上板橋駅北口周辺の都市計画道路や、将来的に拡幅する道路が載っている。そこを改めて分科会で提示して進めていく。道路を整備する上で、都市計画道路以外にも色々な手法があるため、その紹介も出来れば良いと思っている。

〔委員〕

- ・都市計画図は、東武東上線が立体化を始める前に作ったもので、南口は再開発を行っていて、今の形で載っているか分からない。アンケートでも、南北の一体化や、踏切の意見が出ている。あくまで都市計画図を基本として、それに沿った形にしないといけないのか。あるいはそれを無視した形でも良いのか。

〔事務局〕

- ・都市計画図は都市計画法の手續に基づいて設定されているため、基本的にそれに沿って進めていくのが原則だと事務局としては感じているが、例えば、この道路は都市計画で計画決定していないが道路が欲しいとか、南と北を繋ぐためにこういう道路が必要といった議論は必要だと思う。

〔委員〕

- ・ありがたい姿を描くという話があったが、今の都市計画があったとしても、人口動態を考えて、こういう施設があった方が良いという意見があると思う。区側からすると都市計画法の問題に引っかかり、実現できないことも起こりうるのか。

〔事務局〕

- ・マスタープランは地域住民の皆様で考えていただき、それを区へ提言していただくというものである。今後、それについて区でどうしていくかは、今のところ何も決まっていない。地域住民の皆様で意見を出していただき、将来こうなったら良いなという思いを形にさせていただくことが目的になっている。

〔事務局〕

- ・上板橋もときわ台も、皆様の思いが形になっていないエリアであるため、皆様の思いやまちづくりの思いを形にしていくところが初めのステップである。その後、いただいた思いを行政として形にしていく。都市計画法の手續き等の話は、行政計画を区の方でしっかりと検討していくフェーズになっていく。マスタープランが総花的と言われているが、まずは土台が作るべきところにある。

【検討事項】

〔事務局〕

- ・分科会の設置について、ご意見はあるか。

〔委員〕

- ・分科会は設置した方が良いのでは。

〔事務局〕

- ・設置という意見があったが、分科会は設置することで良いか。

<委員一同賛成>

〔事務局〕

- ・それでは、分科会は設置する方向とする。
- ・次は公開の有無と規約の改正について、分科会を設置する場合は規約を改正する必要がある。それに伴い、分科会を公開するか非公開とするかによって、文言が変わってくる。分科会を公開とするか非公開とするかを皆様にお聞きしたい。

〔委員〕

- ・非公開が良いと思う。

〔委員〕

- ・分科会は決定機関でないため、非公開で自由に討議できるようにした方が良い。

〔事務局〕

- ・非公開という意見が多いが、非公開という形で良いか。

<委員一同賛成>

〔事務局〕

- ・では、別紙4の協議会規約が改定になる。本日付けで協議会で承認いただいたということで良いか。

<委員一同異議なし>

〔事務局〕

- ・分科会のメンバーについて、参加していただける方はいるか。

〔委員〕

- ・皆さんの都合によっては、分科会Aと分科会Bが分かれて開催することもあるかもしれない。

〔事務局〕

- ・分科会Aと分科会Bは、同時開催を予定している。一人で2つ出るとは、今のところ想定していない。

〔委員〕

- ・皆さんの都合があるから、分科会Aと分科会Bの開催日が違って構わないのではないかと。原則は、同日にすれば良い。

〔事務局〕

- ・分科会のメンバーについては、後ほどお聞きする。

(5) その他

〔事務局〕

- ・ 10 月頃に現場見学会を考えている。上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会とときわ台駅周辺地区まちづくり協議会の合同で、他自治体の現場視察を行い、将来のまちのイメージの参考になれば良いと考えている。
- ・ 場所は未定だが、以前実施した委員の皆様のアンケート結果を参考に事務局で検討させていただき、9月の協議会でお示したいと思う。

4. 閉会